

クオール薬局にご来局の患者さまへ

当薬局では、患者さまに提供する医療の質の向上を目的として、薬局における医療情報や調査情報を活用した研究を実施しております。

研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆さま方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合は下記の問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名	大規模チェーン保険薬局データを元にした経口抗がん剤の後発医薬品が選択される要因の探索
研究責任者	村田 勇人
他の研究機関および各施設の研究責任者	昭和大学薬学部病院薬剤学講座 准教授 百 賢二
本研究の目的	クオール株式会社の保険薬局では後発医薬品変更が可能な処方せんを応需した際に、患者へ後発医薬品の変更希望有無の確認を行っています。抗がん剤処方がある患者背景が、後発医薬品使用率へどう影響しているかの実態を明らかにし、国内におけるポスト 80%時代のさらなる後発医薬品の推進に寄与することを目的としました。
調査データ該当期間	2019年4月から2021年3月までの情報を調査対象とします。
研究の方法 (対象となる方)	20歳以上で対象期間中に後発医薬品のある経口抗がん剤の処方がある方
研究の方法 (使用する情報)	1) クオール株式会社情報システム部協力の元、クオールにて2019年4月1日～2021年3月31日の期間で、厚労省コード42から始まる経口抗がん剤の処方がある方の情報（年齢、性別、自己負担割合、保険番号、処方せん発行医療機関、生活保護公費の有無、応需した薬局名・事業部名、内服抗がん剤名、併用薬剤数、併用薬剤名、かかりつけ薬剤師指導料の有無、特定薬剤管理指導加算Ⅱもしくは、服薬情報提供等加算の有無、麻薬加算の有無、訪問管理指導料の有無）を抽出します。同患者で複数回処方情報がある場合は、期間中の一番古いデータとします。 2) 得られたデータより、後発医薬品のある抗がん剤の処方がある方で、後発医薬品を選択した方と先発医薬品を選択した方の背景を比較します。
情報の他機関への提供	他の機関への情報の提供はありません。

個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：045-949-5800（クオール薬局港北店 村田勇人）

